



校内研修だより

富岡市立富岡中学校
No.2
発行日 2024/6/24
発行者 校内研修主任

共によりよい未来を創る生徒の育成
～「創造的な対話」のある授業改善と生徒指導を通してエージェンシーを高める～

6月11日の要請訪問では大変お世話になりました。まずは授業を提案して下さった村田先生、山田先生に心より感謝申し上げます。また、指導案作成にご協力いただいた英語科部、社会科部の先生方、見えないところで様々なご配慮を下さった全ての先生方にも感謝申し上げます。



授業検討会（生徒インタビュー）の様子

💡 創造的な対話の姿とは？

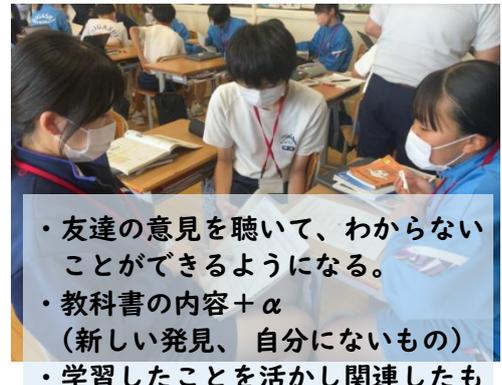
<社会科の授業検討会のグループでだされた意見>



- ・主体的に
- ・素直に意見を出し合える、互いを認め合える。
- ・自他の意見を比較できる。
- ・未来思考、事象に対する評価ができるとうい。



- ・自分の考えをもって対話。
- ・簡単にひき下がらない。(食い下がる)
- ・「わからない」が言えて、友達の助言・アドバイス・意見が言える。

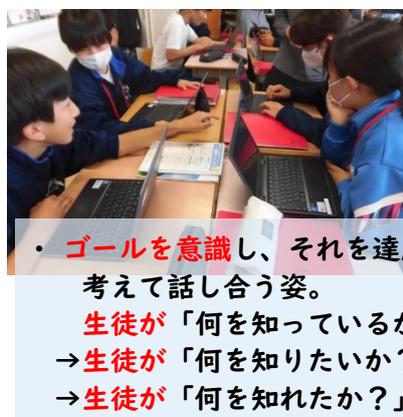


- ・友達の意見を聴いて、わからないことができるようになる。
 - ・教科書の内容+ α (新しい発見、自分がないもの)
 - ・学習したことを活かし関連したものを考えたり、様々な視点で考えたりする。
- 共有→修正 (関連付け、気付き)**

<英語科の授業検討会のグループでだされた意見>



- ・ **目的**を明確にする
→充実した対話
- ・ **中間**に共有、発表
→新しい課題や修正



- ・ **ゴール**を意識し、それを達成するために必要なことは何かを考えて話し合う姿。
- 生徒が「何を知っているか？」……先生にとって1番大事
→生徒が「何を知りたいか？」……生徒にとって1番大事
→生徒が「何を知れたか？」



- ・ ただ教えあう。教える生徒にとってプラス。
 - ①できない生徒も課題に気づく。
 - ②課題を解決のために聞く。
- ・ 時間の使い方を自分たちの現状で決める。
- ・ 一つのをみんなで解決しようとする。

- ・ 間違いに気付く
→よりよくしようと対話
「聞き出す」「質問する」
×答えを教える
→その視点でも考えられるのか!!
→新たな意見(考え)の創造

💡 今回先生方が見つけた「創造的な対話」のポイント



💡 生徒の声を聴く

教えることも勉強になる。デメリットっていうのは、しゃべらない子も出てきちゃうの思うので、答えばっか教えちゃう人もいるので、そしたら、ちょっと苦手な子っていうのが、ひたすら言われたことだけを書いちゃう可能性がある。



教える方も学びがある。

バブル経済のよい点しか、教科書や自分の考えから書くことができなくて、友達との意見の交流でバブル経済の中でも悪い点なども友達から聞いたりして、よい所だけでなく悪い場面も考えることができました。



生徒インタビュー動画



英語



社会

今回生徒のインタビューで生徒の実際の声を聴き、「意外とこういうことを考えているのだな…」「大人だなー！」と感ずることがあったのではないのでしょうか。今回は実際に声に出して、生徒が表現してくれました。しかし実際の教室には、声なき声がたくさんあふれていると思います。こういった生徒の声を大切にして、今後も授業をし続けていきたいものですね。これからも、「生徒とともに」よりよい授業を創っていきましょう。